

台風 19 号が猛威をふるい各地に甚大な被害をもたらしました。皆さま、被害等ございませんでしたか？

今回の台風は、人間の力が及ばないものとはなんであるのか、改めて知らされましたが、一方で警戒情報の進歩は少なからず感じました。今後、毎年起こるであろうあらゆる災害に関する情報は科学の発達によりさらに発展してゆくと思えますし、いただきたいものですが、この、科学が進歩してもどうすることもできない科学の入る隙のないことが生死の問題でありましよう。

まず、科学 (science) とは「観察や実験など経験的手続きによって実証された法則的・体系的知識」と広辞苑にはありました。有名な法則といえば、多くの方が知っているニュートンがある日、リンゴが木から落ちるさまを見て気づいたと言われる「万有引力の法則」などがあります。後の科学の発展に多大なる影響を与えましたが、逆に昨今、それが多くの化学兵器といわれる恐ろしいものに変化してきていることは大変心配です。

数か月前、テレビである自然科学の専門家が言われていたことを思い出します。女性の方でしたが、正確ではありませんが大体的内容は、「現代人は科学というものを少し勘違いしているのではないか。科学とは実験や経験から実証された、法則や体系を知り、この私はこういった中で生かされていたのかと気づき、感謝することが科学が教える大切なことなのでは。」と言われていたと思います。本当の科学者とはこういう考えの方をいうのかなあと、思われる言葉でした。

さて、現在私たちは科学に依存した生活を送っておりますが、その科学でも決して解決できないものが、生死の問題(私が死ぬ問題)であると先に申しました。では、どうすれば生死の問題を解決できるのか？

『仏説観無量寿経』の中に、自分の子供に殺されそうになった末、牢屋に叩き込まれ生きる力もなく、ほとほとこの世が嫌になり憔悴しきっている韋提希夫人が、お釈迦様に対し「どうか苦しみのない世界を教えてください」と訴えます。するとお釈迦様は眉間から

光を放ちあらゆる仏様の世界を見せしめた結果、韋提希は浄土往生を願うという場面があります。ここで、「眉間から光を放つ」という言葉だけ取ると科学中心の考えでは、どうしても抵抗があるかと思えます。しかし、ここで韋提希のかかえている問題とは、お金や科学といったものでは到底解決できない、生死の問題でありました。

浄土真宗には、「後生の一大事」という言葉があります。この意味は私の人生の大問題をまず死ということに据えて、ただ無意味に死んでゆく人生ではなく、何処に生まれ行くか真剣に問題にする心です。この問題が生じたとき科学では解決できません。しかし、この問題を見事に解決して下さった方が阿弥陀仏です。今、解決して下さったと書きました。ここが、浄土真宗の抑えるべき大切なところです。浄土真宗のお経は阿弥陀様が、私たちのために後生の一大事を解決して下さったことが説かれてあります。阿弥陀様の後生の解決法とその結果を生涯聞かせていただくだけです。「念仏成仏これ真宗」

写経と法話会（常例・妙蓮寺にて）

11月9日（土）14時～

12月9日（月）14時～

写経は『仏説阿弥陀経』を少しずつ進めています。（テキスト代 864円税込）

法話会では『正信偈』を少しずつあじわっていきます。

「信心は聞くということにつきるのである」蓮如上人

団体参拝（築地本願寺報恩講）

日時 11月14日（木）

築地本願寺正門前 11時30分集合（詳細は別紙にて）

妙蓮寺報恩講（親鸞聖人ご命日）

日時 12月1日（日）

13時30～読経『正信偈・和讃』

14時10分頃～ご法話（30分2席）

講師 米田順昭師 広島県 最禪寺 真宗学寮講師

《ご法話について》

昨年に引き続き、米田先生にお越しいただくことになりました。広島弁の独特な雰囲気、楽しくわかりやすく、お話いただけると思います。

今回は、「今ここでの救い」ということをわかりやすくお話下さいます。

15時30分頃～お齋^{とき}

報恩講は最も大切な行事でありご法話の後、お齋（食事）と少々お酒をご用意させていただきます。ごいっしょにご歓談いたしましょう！

お齋までお召し上げられる方は、お弁当のご用意を致しますのでお手数ですがご連絡願います。

連絡先 03-6231-4733 090-6340-9040

場所 妙蓮寺（駐車場有）

《お知らせ》12月8日（日） 築地本願寺成道会（布教大会）に11時30分～妙蓮寺住職が法話いたします。
観光がてら、是非足をお運びください。